



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御菌町長屋 1 9 6 3 (株)エホ・リュ・シオン内

(☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006)

E-mail info@3c-mie.net <https://3c-mie.net/>

今月は冬季パラリンピックや WBC(地上波では見らなくなりましたが)とスポーツ満載です。3月には、花月(かげつ)や桜月(さくらづき)などの別名もあるようです。まさに春の様相を想起させますが、三重大学で気象学がご専門の立花義裕教授が提唱された「もはや四季はなく二季」からするとあつという間に夏がくるのでしょうか。

この時期は、企業や組織で機構改革や人事異動が行われる季節でもありますが、最近の急激な社会の変動や地域環境の変化に対応した取り組みが求められているのでしょうか。生成AIの活用が当たり前になり、欧米文化の影響で転職行動がトレンドのごとく扱われています。何がフェイクで何が本物・真実かを見定める目が今こそ求められますね。

流れの早い時代ですが、当社も まるっと6年経ちました。今回は、これまで実施してきた会員交流の場を振り返ってみたいと思います。



令和2年7月に松阪市長や鳥羽市長、玉城町長、南伊勢町長などご縁をいただいた首長にもご出席いただき初めての交流会が開催されました。

当時の三重県知事鈴木英敬様からもメッセージをいただきました。

顧問の内田淳正氏(元三重大学学長)の基調講演「地方創生への挑戦と課題」からスタートしました。

地域の課題は地域のみなさんが情報共有をして解決をしようとしたと始めた社団活動でした。

そのためにはみんなが集まって交流できる機会をつくってしようという考えでしたが、コロナ渦で集まることが出来ず、令和3年は通信の配信でつながっていく活動に留まざるを得ませんでした。



令和4年6月には、感染対策をしっかりと行って2回目の交流会を開催いたしました。

当時四日市大学の学長であった岩崎恭典氏を迎え「産学官で地域づくりを！」というテーマで講演をいただいたの交流でした。



令和4年11月には、内田顧問の「瑞宝中授章」叙勲のお祝いということで社団の仲間達が集まってくれました。



令和5年6月は株式会社ぎゅーとらの清水秀隆社長をお招きして「地域に根差した経営と活動」というテーマでご講演をお願いし、その後交流会が行われました。

この交流会では、三重県立看護大学の6名の学生のみなさんも社会実習としてお手伝いをいただきました。

参加者のみなさんからは、それぞれの分野で地域課題に取り組まれたご報告がなされました。



清水社長

令和6年3月は、「学びのトークサロン」でみなさんと語り合いました。

食事をしながらの話し合いはあっという間に時間が流れます。時に異業種交流も必要です。



長崎部長



早川取締役

令和6年6月はアストプラザにて地域の課題を考える交流集会として「地域交通」をテーマに、県地域連携・交通部の長崎部長(当時)ならびに三重交通グループホールディングス株式会社の早川取締役にご登壇いただき交流会を開催しました。

深刻な問題は、運転士不足でここ4年間でバスドライバーは9%、タクシードライバーは22%減少しているそうです。



令和6年11月は秋のランチ懇話会と称して語らいの場で集まっていただきました。朝10時からはじまりました。新しい仲間も増えて話が弾みます。

いつもお世話になる津駅東のエビイロさんには感謝です

令和7年4月は「学生&社会人懇話会」を開催し、世代を超えての交流を行いました。

学生のみなさんは、三重大学、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿高専、皇學館大学からの参加でした。学生報告では、社会人以上に地域活動を展開していること、それも自主的に動き、大学を越えて学生同士がつながっているのは驚きでした。SNS社会ならではかもしれません。



今年になり、先月は内田顧問と絵地図作家植野めぐみさんお二人のトークを踏まえ懇話会を開催いたしました。

これからも気軽に参加いただける交流の場をつくっていきたいと思います。